

北海道建設新聞

20社に晴れの栄誉

09年度治山・林道コンクール

道森林管理局長 技術のけん引要請

局長から一人一人に表彰状が手渡された。併せて、2月9日に東京都内で表彰式が行われた林野庁長

官賞の受賞者7社(治山4社、林道3社)に対して、施工した工事を紹介し、功績をたたえた。最後に、山崎局長は受賞者に向けて「治山・林道整備について、適切な施工の確保をしていくためには、技術力の向上に向けて、しっかり取り組まなければいけない。受賞者の方々は、高度な技術と豊富な経験を生かし、業界全体の技術力の向上の牽引(けん引)」と要請した。

道森林管理局は16日、同局で2009年度治山・林道工事コンクール優秀工事表彰式を行った。09年度から、道内5地区で開催していた表彰式を札幌市の道森林管理局が一括して実施。道森林管

理局長賞を受賞した治山部門12社、林道部門8社の計20社に、山崎信介局長が表彰状を手渡し、各社の栄誉をたたえた。表彰は、09年度に道内で施工した金額2000万円以上の溪間工と、1



500万円以上の山腹工を合わせた治山工事125件、金額1500万円以上の林道工事95件を対象に審査。品質管理や施工管理、安全管理などで優れた成績を収めた業者を選定し、札幌、帯広、旭川、函館、北見地区から各4社が受賞した。また、09年度から技術者や道森林管理局職員の意欲の高揚を目的として、主任技術者表彰と監督職員表彰を新設。林野庁長官賞の工事を担当した主任技術者3人と森林管理各支署の農林水産技官7人が受賞している。表彰式では、各社の代表者が壇上に並び、山崎

優れた成績を収めた受賞者をたたえ、山崎局長(左)が表彰状を手渡した